

米軍再編に係る千歳基地での訓練移転について

平成20年12月8日（月）から12日（金）にかけて航空自衛隊千歳基地で実施した標記の訓練状況について、次のとおり報告します。

1. 米側要員の移動状況

(1) 最大要員数：73名（パイロット5名、要員68名）

12月 6日（土）	要員	15名到着
7日（日）	要員	2名到着
8日（月）	要員	50名到着
	F-15	5機（パイロット5名）到着
	C-17	1機到着、当日帰還
10日（水）	要員	1名帰還
	要員	2名到着
11日（木）	要員	1名帰還
12日（金）	F-15	5機（パイロット5名）帰還
	要員	52名帰還
14日（日）	要員	13名帰還
	C-17	1機到着、当日帰還
15日（月）	要員	2名帰還

2. 北海道防衛局が設置した現地連絡本部関係

- (1) 設置日時：12月5日（金）14時00分、閉所日時：15日（月）14時00分
(2) 現地連絡本部人員総数：約30名

3. 訓練期間中の飛行関係

- (1) 慣熟飛行の実施（米軍機）：実施していないと思われる。
（目視にて千歳市独自確認により）

(2) 共同訓練の実施状況

8日：0回、9日：2回、10日：2回、11日：1回、12日：0回
訓練回数：5回

月 日	実 施 状 況
12月 8日（月）	・ 14:00、嘉手納基地より、F-15 戦闘機5機が千歳基地に到着 ・ 訓練なし

12月 9日(火)	【午前】 F-15×8機 8:50…離陸、10:40…着陸 (米軍×4機、空自×4機) 【午後】 F-15×8機 13:40…離陸、15:00…着陸 (米軍×4機、空自×4機)
12月10日(水)	【午前】 F-15×8機 9:10…離陸、10:40…着陸 (米軍×4機、空自×4機) 【午後】 F-15×8機 13:50…離陸、15:00…着陸 (米軍×4機、空自×4機)
12月11日(木)	【午前】 F-15×8機 9:00…離陸、10:40…着陸 (米軍×4機、空自×4機) 【午後】 天候不良(降雪)により中止
12月12日(金)	・10:40、F-15 戦闘機5機が帰還

4. 訓練期間中における事件・事故の報告

事件・事故の報告なし

5. 米側の千歳基地滞在中の外出状況

ほぼ毎日外出

6. 訓練期間中の市への問い合わせ件数(空港・基地課、危機管理課)

市民等からの問い合わせ等の件数: 0件

(危機管理課及び空港・基地課は、12/6(土)から12/14(日)にかけて、危機管理の対応、市民からの問い合わせ対応のため、24時間体制を執った)

7. 訓練期間中の苦情件数

0件

8. 期間中の騒音の速報値の概略

別紙のとおり

平成20年12月8日から12日までの期間中における騒音の速報値について(千歳市測定分)

このdB値は、千歳市が訓練期間中の米軍機及び共同訓練に参加した自衛隊機の双方のF-15における離・着陸時の騒音レベルの速報値における最高値を記載しています。
一般的に、騒音値は、風向き、気象条件、飛行方法などで異なり、この数値をもって直ちに騒音実態として評価することは難しいものがあります。
また、次回以降の臨時局の設置場所を検討していきます。

(単位: dB)																			
種別	No.	日付(回数)	8日	9日(午前1回)				9日(午後1回)				10日(午前1回)				10日(午後1回)			
		離着陸方向 *1	南方向	南方向				南方向				北方向				北方向			
		機種	米軍F15×5	米軍F15×4 *2		自衛隊F15×4 *2		米軍F15×4		自衛隊F15×4 *2		米軍F15×4		自衛隊F15×4		米軍F15×4		自衛隊F15×4	
		離陸・着陸	着陸	離陸	着陸	離陸	着陸	離陸	着陸	離陸	着陸	離陸	着陸	離陸	着陸	離陸	着陸	離陸	着陸
常設局	1	青葉丘局	86.3	81.0	72.6	85.0	76.1	-	74.9	88.6	78.1	100.8	-	101.7	-	104.4	-	98.8	-
	2	住吉局	92.0	73.0	89.4	78.5	91.8	-	84.7	-	94.2	99.9	-	96.2	-	99.9	-	97.6	-
	3	東雲局	84.0	83.1	-	82.5	-	74.1	-	76.1	-	90.8	-	89.7	-	91.4	-	88.9	-
	4	寿局	83.3	83.2	-	87.2	-	-	-	-	-	83.0	-	89.3	-	89.4	-	88.0	-
	5	北斗局	70.6	89.1	-	85.2	-	77.6	-	74.4	-	81.6	-	82.9	-	85.2	-	82.6	-
	6	里美局	-	-	-	77.3	-	-	-	78.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	根志越南局	79.2	-	-	73.4	-	-	-	-	-	91.5	-	89.7	-	93.8	-	90.0	-
	8	駒里東局	-	76.5	-	80.6	-	-	-	-	-	-	-	70.7	-	-	-	-	-
臨時局	1	桜木臨時局	-	73.9	-	76.8	-	67.0	-	69.4	-	71.1	-	80.8	-	74.9	-	78.9	-
	2	長都駅前臨時局	71.2	71.4	-	72.7	66.7	-	-	-	69.1	78.7	-	84.9	-	82.2	-	84.0	-
	3	桂木臨時局	-	81.1	-	87.7	-	-	-	-	-	72.8	91.2	75.2	-	75.7	-	72.4	76.7
	4	文京臨時局	-	-	-	80.4	-	-	-	80.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(単位: dB)							
種別	No.	騒音測定局	11日(午前1回)				12日
		離着陸方向 *1	北方向				北方向
		機種	米軍F15×4		自衛隊F15×4		米軍F15×5
		離陸・着陸	離陸	着陸	離陸	着陸	離陸
常設局	1	青葉丘局	108.5	-	99.5	-	100.7
	2	住吉局	99.3	-	96.1	-	98.1
	3	東雲局	95.3	-	89.0	-	89.4
	4	寿局	84.2	-	87.0	-	83.3
	5	北斗局	85.7	-	78.7	-	80.8
	6	里美局	70.6	75.5	74.5	-	-
	7	根志越南局	91.3	-	88.4	-	90.5
	8	駒里東局	72.0	-	-	-	72.1
臨時局	1	桜木臨時局	75.4	-	72.2	-	70.7
	2	長都駅前臨時局	80.6	-	79.9	-	80.4
	3	桂木臨時局	76.6	-	72.2	-	75.2
	4	文京臨時局	-	76.1	72.6	-	-

注) 上記表中の「-」は、65dB以上の音が5秒以上継続したデータがなかったことを示す。
特記) *1「離着陸方向」の「南方向」とは、戦闘機の機首が苫小牧市側に向くこと、「北方向」とは、戦闘機の機首が千歳市街地側に向く状態を示す。
*2 自衛隊機及び米軍機の離・着陸に際して、双方が2機ずつ2回に分けて飛行しているので、双方の離・着陸時の最高値を記載した。